

平成20年10月15日
株式会社日本政策金融公庫
国民生活事業

「教育費負担の実態調査(勤務者世帯)」
～アンケート結果の概要～

家庭に重くのしかかる教育費負担
～世帯年収の1/3超が教育費で消える～

本レポートは、「国の教育ローン」を平成20年2月に利用した世帯に対するアンケート(平成20年7月実施)に回答のあった勤務者世帯2,753件について集計したものです。

～主な調査結果～

1 高校入学から大学卒業までの費用は子供1人当たり1,024万円(本文3、4、5ページ)

- 入学者1人当たりの入学費用は、高校で48.9万円、大学で95.6万円となった。一方、在学中の費用(在学費用)は、1年間の合計で、高校では92.5万円、大学では150.4万円となった。
- 高校入学から大学卒業までにかかる費用は、子供1人当たり1023.6万円となっている。

2 在学費用は世帯年収の34% (本文6ページ)

- 世帯の年収に対する在学費用の割合は34.1%となった。
- 世帯の年収に対する在学費用の割合は、年収が少ない世帯ほど高い。年収が「200万円以上400万円未満」の世帯では、55.6%に達している。

3 仕送り額は年間96万円 (本文8、9ページ)

- 自宅外通学者がいる世帯は、全体の38.7%に上る。自宅外通学者が1人いる世帯の仕送り額は、年間96.0万円となった。
- 自宅外通学を始めるための費用は、48.6万円となった。

4 旅行・レジャー費、外食費を除く食費等の節約によって教育費を捻出 (本文10ページ)

- 教育費の捻出方法としては、「教育費以外の支出を削っている」が61.4%と最も多く、以下「奨学金を受けている」(49.3%)、「子供(在学者本人)がアルバイトをしている」(42.1%)と続く。
- 節約している支出としては、「旅行・レジャー費」が62.1%と最も多く、以下「食費(外食費を除く)」(48.8%)、「衣類の購入費」(46.0%)と続く。

<問い合わせ先>

日本政策金融公庫 国民生活事業本部 個人融資部 教育貸付課 (担当: 金谷、桑島)
東京都千代田区大手町1-9-3
TEL 03-3270-1492

教育費負担の実態調査結果（勤務者世帯）

～ アンケート結果の概要 ～

調査要領、回答世帯の概要

調査結果

- 1 教育費の支出状況
 - (1) 入学費用
 - (2) 在学費用
 - (3) 高校入学から大学卒業までにかかる費用
- 2 教育費の負担
 - (1) 在学費用の負担
 - (2) 住宅ローンと在学費用を合わせた負担
- 3 自宅外通学者にかかる費用
 - (1) 自宅外通学者1人当たりの年間の仕送り額
 - (2) 自宅外通学を始めるための費用
- 4 教育費の捻出方法

調査要領、回答世帯の概要

1 調査要領

調査対象	： 「国の教育ローン」を平成20年2月に利用した世帯
実施時期	： 平成20年7月
発送件数	： 10,490 件
有効回答数	： 2,753 件（勤務者世帯）

調査時点の「国の教育ローン」の概要

利用対象

世帯の年収が990万円（事業所得者は770万円）以内で、下記の学校に入学・在学する子供のいる世帯。

- ・ 高校、高等専門学校
- ・ 短大、大学、大学院
- ・ 専修・各種学校、予備校など
- ・ 海外の学校（高校、短大、大学など）
- ・ その他職業能力開発校などの教育施設

融資額

学生・生徒1人当たり200万円以内

用途

- ・ 入学費用（学校納付金、受験費用など）
- ・ 在学費用（授業料、アパートの家賃、通学費など）

2 回答世帯の概要

（1）子供の数（単位：％、以下同じ）

1人	2人	3人	4人以上	平均
24.0	52.2	20.8	3.0	2.0人

注：無回答を除く割合。以下同じ。

（2）小学校以上に在学中の子供の数

1人	2人	3人	4人以上	平均
35.8	47.4	15.0	1.8	1.8人

（3）子供の在学先

高校	専修・ 各種学校	短大	大学	その他
14.0	24.9	5.0	51.3	4.9

注：平成20年2月に利用した『国の教育ローン』にかかる子供について集計したものである。

（4）主たる家計維持者の年齢

44歳以下	45～49歳	50～54歳	55歳以上	平均
15.4	34.3	31.9	18.4	49.6歳

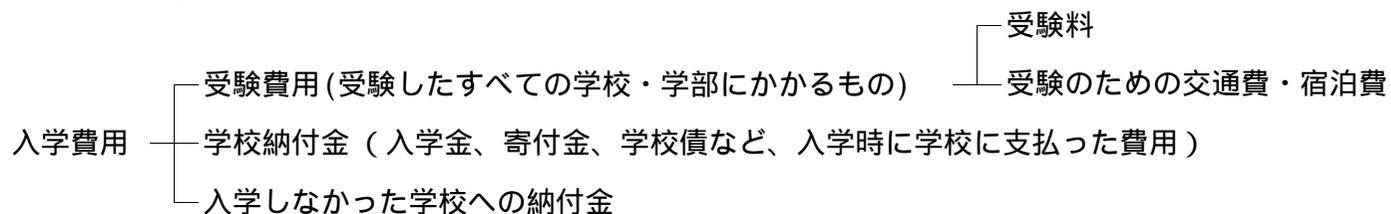
（5）世帯の年収（平成19年、税込み）

200万円未満	200万円以上 400万円未満	400万円以上 600万円未満	600万円以上 800万円未満	800万円以上 900万円未満	900万円以上	平均
2.5	14.2	26.5	32.4	12.3	12.2	621.7万円

用語の解説

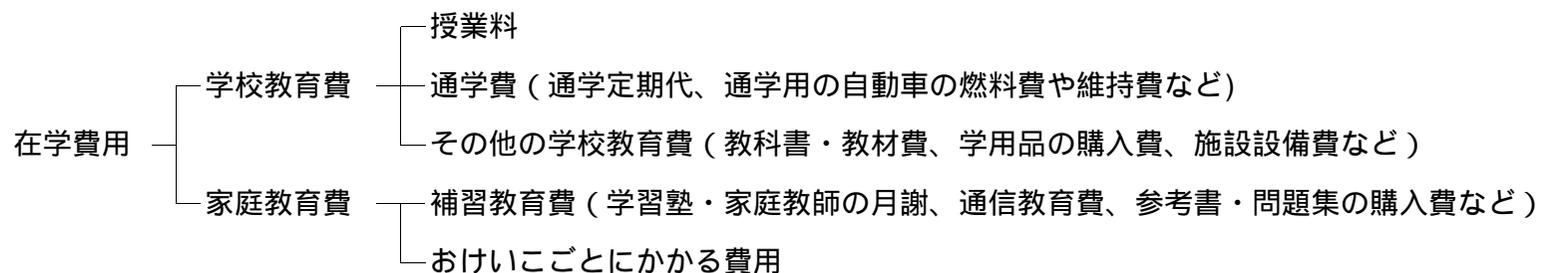
1 入学費用

平成20年4月に高校以上の学校へ入学するためにかった費用



2 在学費用

平成20年4月から平成21年3月までの1年間に、小学校以上の学校に在学中の子供にかかる費用の見込み額



3 自宅外通学者にかかる費用

(1) 年間の仕送り額(ただし、在学費用分は除く)

(2) 自宅外通学を始めるための費用(アパートの敷金・礼金、家財道具の購入費など)

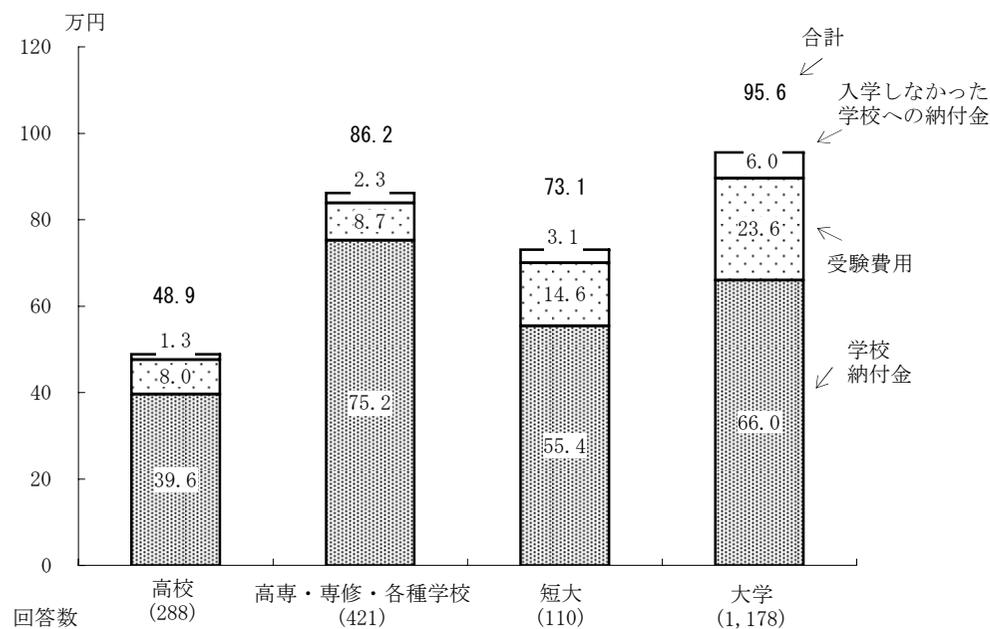
Ⅱ 調査結果

1 教育費の支出状況

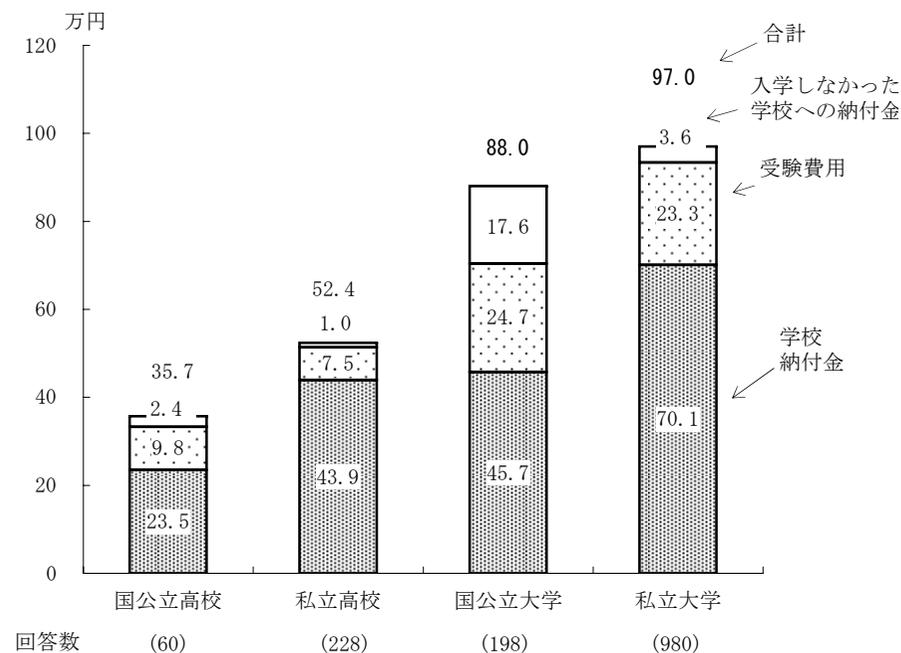
(1) 入学費用 ー高校は49万円、大学は96万円ー

- 入学者1人当たりにかかる入学費用は、高校が48.9万円、高専・専修・各種学校が86.2万円、短大が73.1万円、大学が95.6万円となっている（図－1）。
- 私立大学にかかる入学費用は97.0万円、国公立大学にかかる入学費用は88.0万円となっている。国公立大学へ入学した場合は、入学しなかった学校（私立大学等）への納付金（17.6万円）の負担が大きくなっている（図－2）。

図－1 入学先別にみた入学費用（子供1人当たりの費用）



図－2 国公立・私立別にみた入学費用（子供1人当たりの費用）



注： 入学費用
 ── 受験費用
 ── 学校納付金
 ── 入学しなかった学校への納付金

(2) 在学費用 —高校は年間93万円、大学は150万円—

- 在学中の子供1人当たりにかかる1年間の在学費用は、高校が92.5万円、高専・専修・各種学校が146.3万円、短大が143.1万円、大学が150.4万円となっている(図-3)。
- 私立大学の1年間の在学費用は159.7万円と、国公立大学(104.9万円)のおよそ1.5倍になっている(図-4)。

図-3 在学先別にみた1年間の在学費用(子供1人当たりの費用)

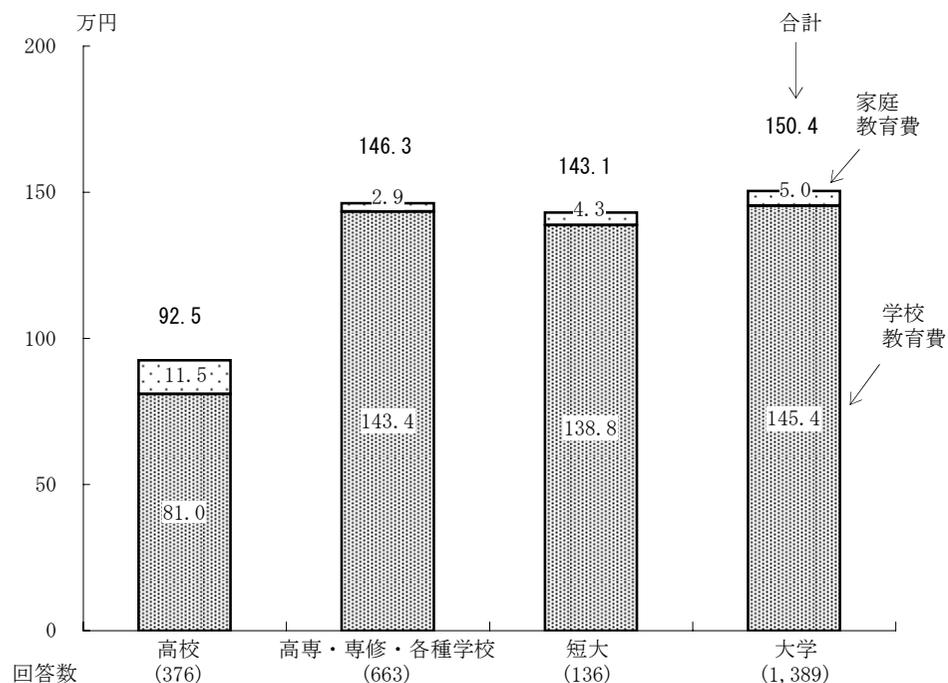
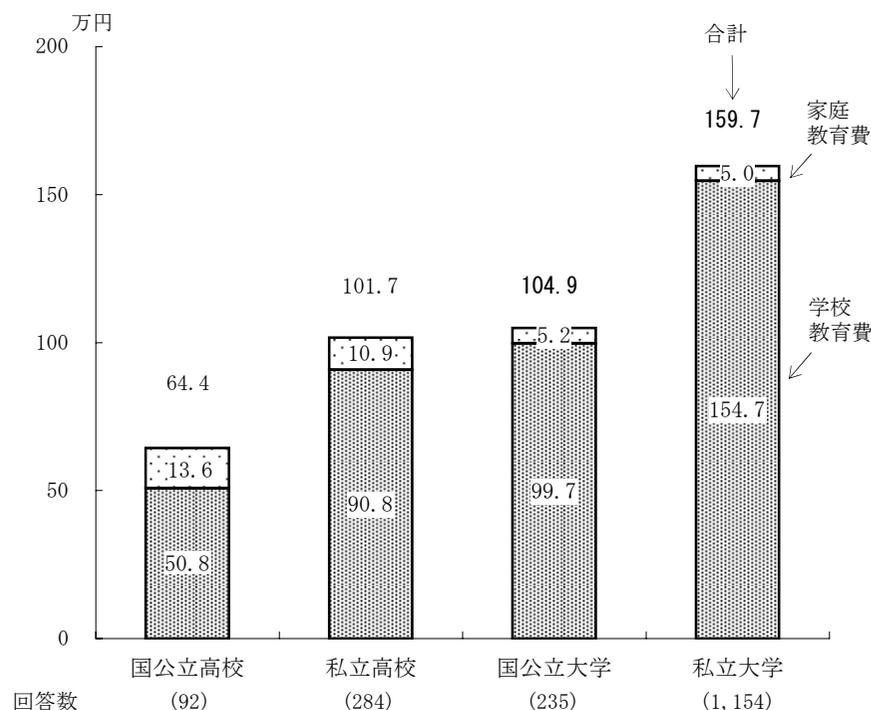


図-4 国公立・私立別にみた在学費用(子供1人当たりの費用)

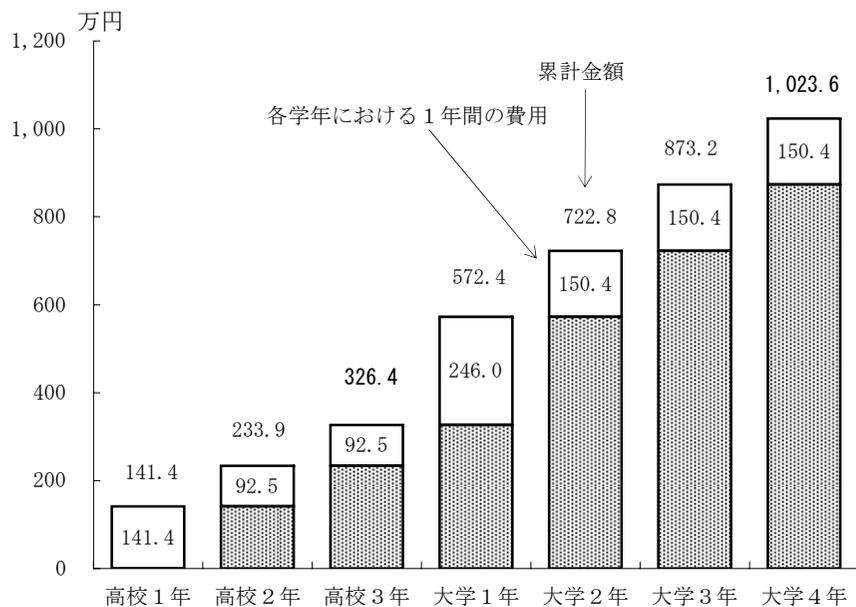


注1: 在学費用 — 学校教育費 (授業料、通学費、教科書代など)
 — 家庭教育費 (塾の月謝、おけいこごとの費用など)
 注2: 在学費用は、20年度における見込額である(図-4も同じ)。

(3) 高校入学から大学卒業までにかかる費用 ー子供1人当たり1,024万円ー

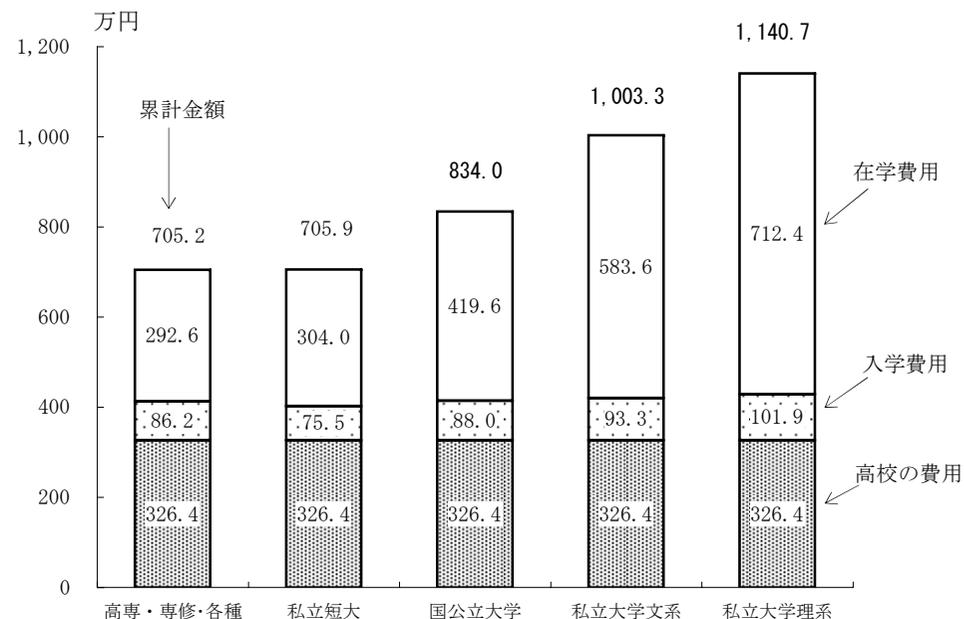
- 入学費用と在学費用を累計すると、子供1人当たりにかかる費用は高校3年間で326.4万円となる（図－5）。大学に入学した場合、入学費用と4年間の在学費用697.2万円が加わり、合計では1,023.6万円となる。
- 高校卒業後の入学先別にみると、私立大学に入学した場合の累計費用は理系で1,140.7万円、文系で1,003.3万円となっているのに対し、国公立大学では834.0万円となっている（図－6）。

図－5 大学卒業までにかかる費用
(子供1人当たりにかかる費用の平均額の累計)



注：高校1年、大学1年の費用には、入学費用が含まれる。

図－6 高校卒業後の入学先別にみた卒業までにかかる費用
(子供1人当たりにかかる費用の平均額の累計)



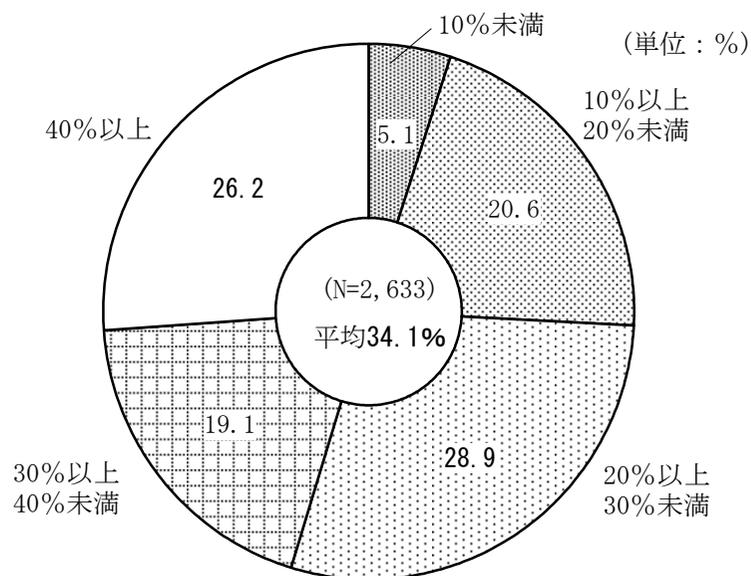
- 注1：高校の費用は、国公立・私立を合わせた全体の平均である。
- 注2：高校の費用には、入学費用も含まれる。
- 注3：高専・専修・各種学校、私立短大は、修業年限を2年として算出している。

2 教育費の負担

(1) 在学費用の負担 ―世帯の年収に対する在学費用の割合は34%―

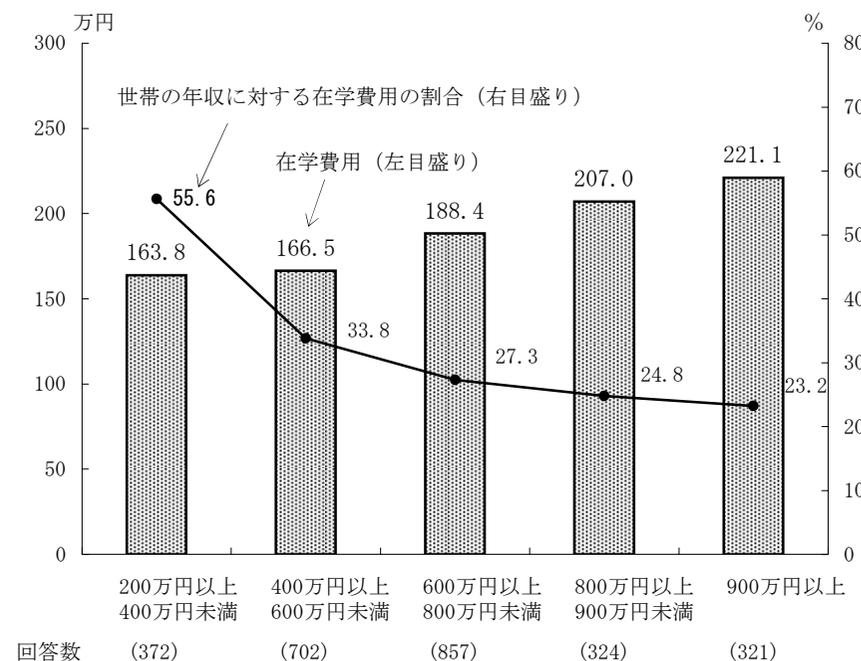
- 世帯の年収に対する在学費用（小学校以上に在学中の子供全員にかかる費用の合計）の割合は、平均34.1%となっている（図－7）。分布をみると、「20%以上30%未満」が28.9%と最も多く、次いで「40%以上」が26.2%となっている。
- 年収階級別にみると、年収が高い世帯ほど、在学費用は多くなる傾向にある（図－8）。
- 世帯の年収に対する在学費用の割合をみると、年収が低い世帯ほど在学費用の負担は重くなる（図－8）。年収が「200万円以上400万円未満」の世帯では、在学費用が世帯の年収の55.6%に達している。

図－7 世帯の年収に対する在学費用の割合



注：小学校以上に在学中の子供全員にかかる在学費用の年収に対する割合である。

図－8 年収階級別にみた世帯の在学費用と世帯の年収に対する在学費用の割合



注：小学校以上に在学中の子供全員にかかる在学費用と、その年収に対する割合である。

(2) 住宅ローンと在学費用を合わせた負担
 -世帯の年収に対する住宅ローン年間返済額と在学費用の割合は46%-

- 自宅を所有している世帯は、全体の77.5%を占めている（図-9）。
- 自宅を所有している世帯のうち、住宅ローンのある世帯は75.2%となっている（図-10）。
- 世帯の年収に対する住宅ローン年間返済額と在学費用の割合は、平均45.9%となっている（図-11）。分布をみると、50%以上の世帯が全体の32.5%を占めている。

図-9 自宅の所有状況

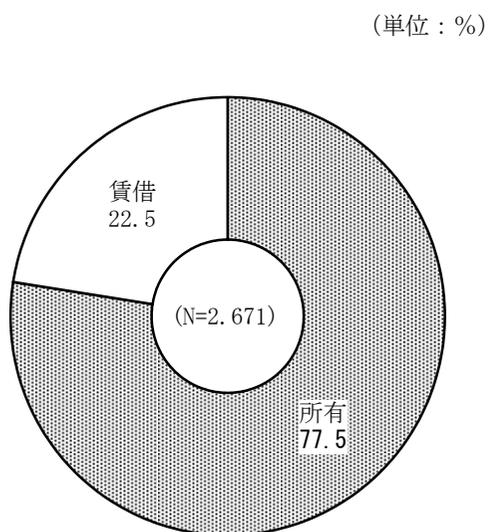


図-10 住宅ローンの有無

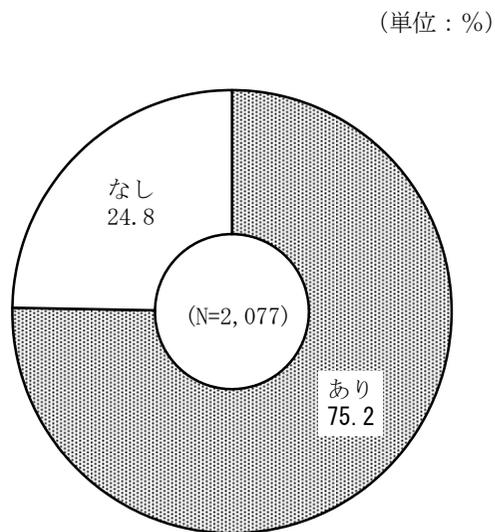
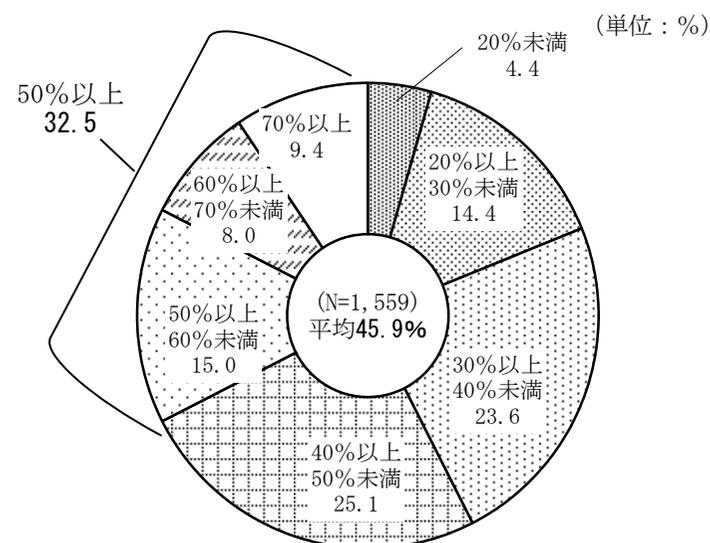


図-11 世帯の年収に対する住宅ローン年間返済額と在学費用の割合（住宅ローンのある世帯）



注：図-9で「自宅を所有している」と回答した世帯への設問である。

注：住宅ローンがある世帯の年収の平均は692.5万円である。

3 自宅外通学者にかかる費用

(1) 自宅外通学者1人当たりの年間の仕送り額 —自宅外通学者が1人いる世帯の仕送り額は年間96万円—

- 自宅外通学者のいる世帯は、全体の38.7%を占めている（図-12）。
- 自宅外通学者が1人いる世帯の仕送り額は、年間平均で96.0万円（月額8.0万円）となっている（図-13）。

図-12 自宅外通学者の数

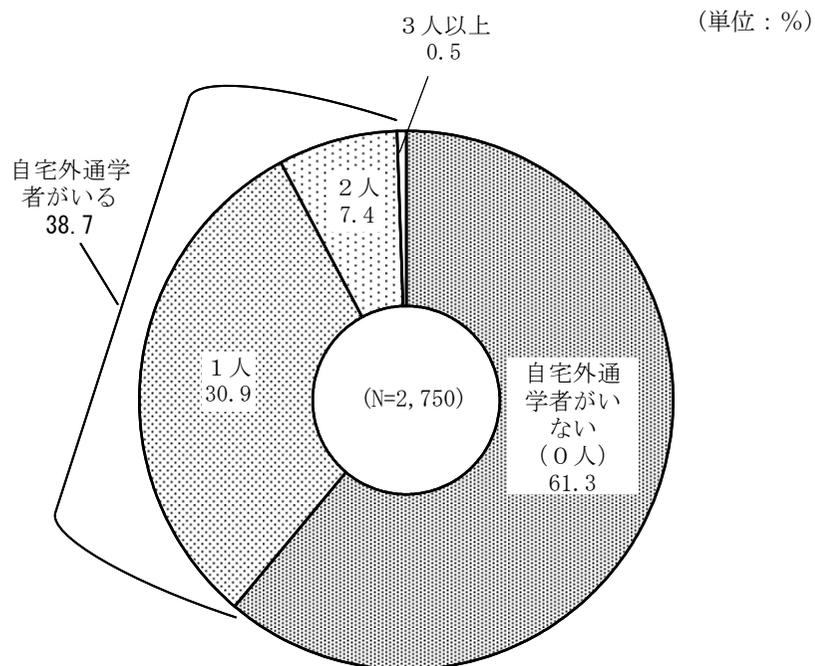
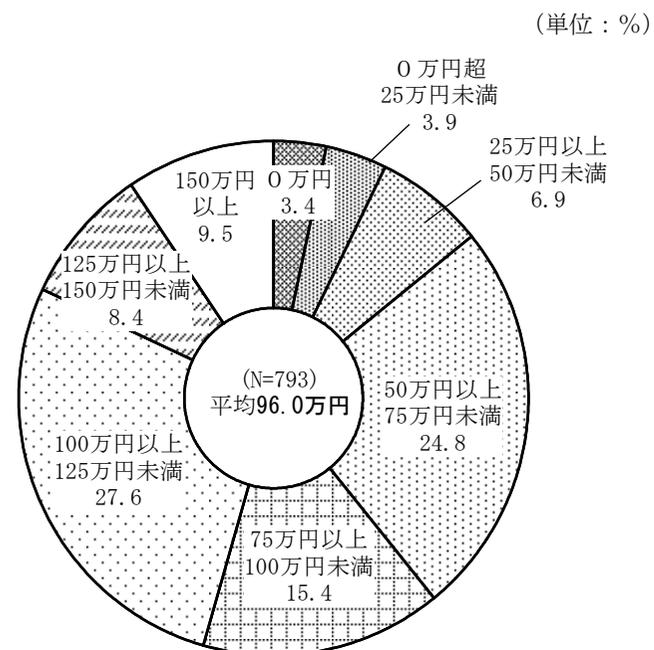


図-13 自宅外通学者が1人いる世帯の年間の仕送り額



(2) 自宅外通学を始めるための費用 - 入学者1人当たり49万円 -

- 自宅外通学を始めるための費用（アパートの敷金や家財道具の購入費など）は、入学者1人当たり平均48.6万円となっている（図-14）。
- 入学費用と自宅外通学を始めるための費用の合計は、入学者1人当たり平均138.7万円となっている（図-15）。分布をみると、「100万円未満」（34.1%）が最も多く、以下「100万円以上150万円未満」（27.0%）、「150万円以上200万円未満」（21.9%）と続いている。

図-14 自宅外通学を始めるための費用
（入学者1人当たりの費用）

（単位：％）

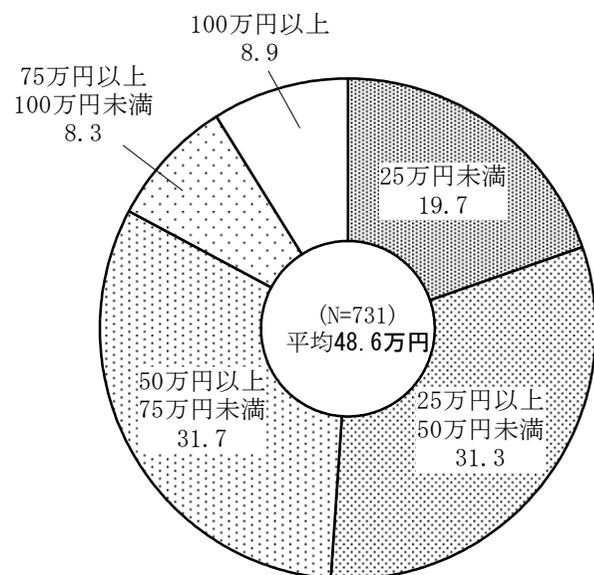
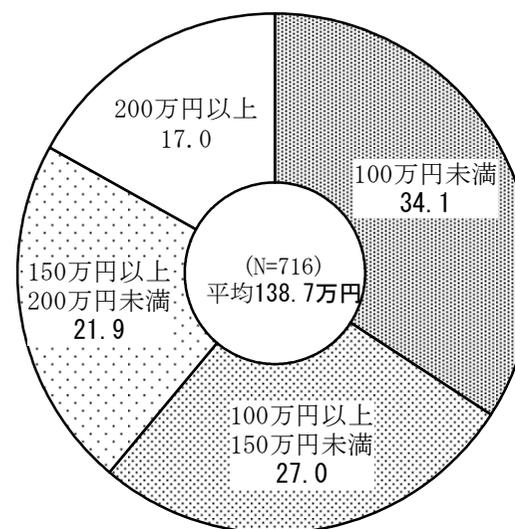


図-15 入学費用と自宅外通学を始めるための費用の合計
（入学者1人当たりの費用）

（単位：％）



注：20年4月の入学時に自宅外通学を始めるためにかかった
アパートの敷金、家財道具の購入費などの合計である。

4 教育費の捻出方法 -節約を主として教育費を捻出-

- 教育費の捻出方法については、「教育費以外の支出を削っている」が61.4%と最も多く、以下「奨学金を受けている」(49.3%)、「子供(在学者本人)がアルバイトをしている」(42.1%)と続く(図-16)。
- 節約している支出としては、「旅行・レジャー費」が62.1%と最も多く、以下「食費(外食費を除く)」(48.8%)、「衣類の購入費」(46.0%)、「外食費」(45.9%)、「保護者のこづかい」(40.1%)と続く(図-17)。

図-16 教育費の捻出方法
(三つまでの複数回答)

(N=2,625)

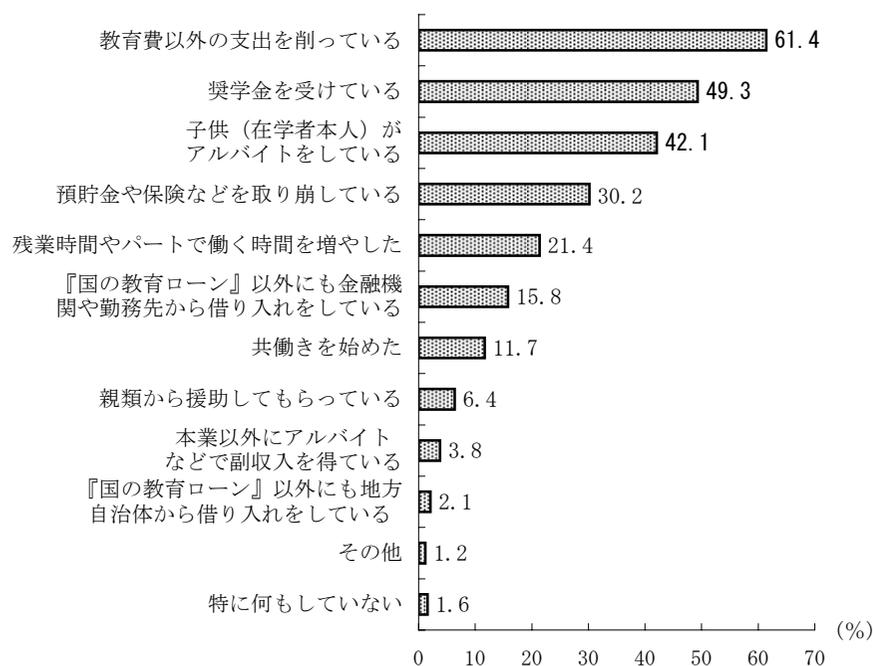
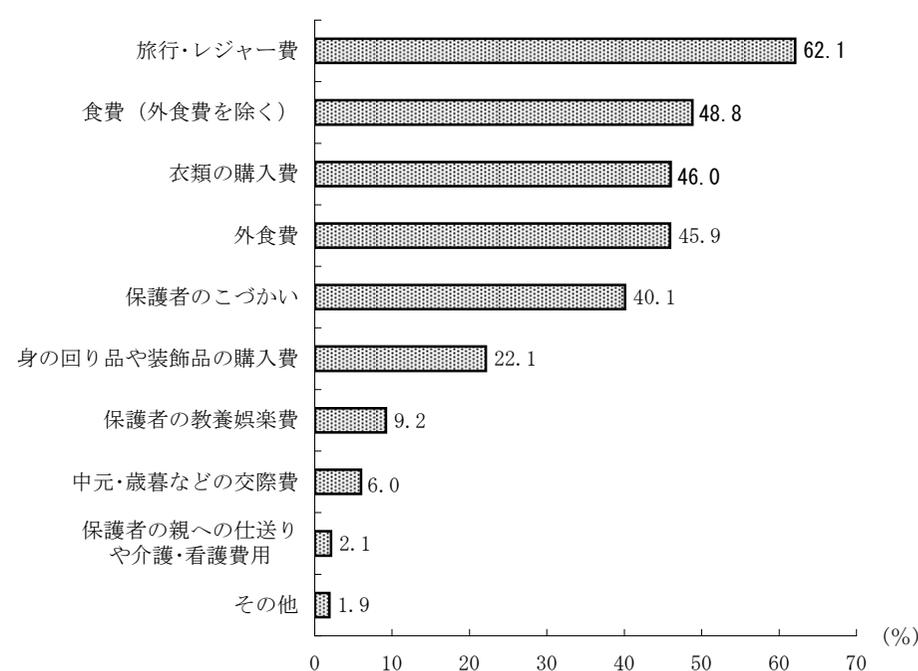


図-17 節約している支出
(三つまでの複数回答)

(N=1,540)



注：図-16で「教育費以外の支出を削っている」と回答した世帯に対する設問である。